

西蒲としよかんだより

第16号



9月号
平成20年9月1日発行

図書館はみなさんの書斎です。

発行：新潟市立西川図書館

〒959-0422 新潟市西蒲区曾根 2046 番地

TEL 0256-88-0001 FAX 0256-88-2458

URL <http://www.nnl.jp> 携帯 URL <http://www.nnl.jp/m/>

Mail info@nnl.jp

西蒲区の地区図書室紹介 その2～^{みねおか}峰岡地区図書室～

峰岡地区図書室は峰岡公民館の中にあります。
この場所にはかつて峰岡中学校が建てられていました。
角田山のふもとにある小さな図書室ですが、
皆様をお待ちしております。

峰岡図書室の担当職員です。
よろしくお願ひいたします。



須佐



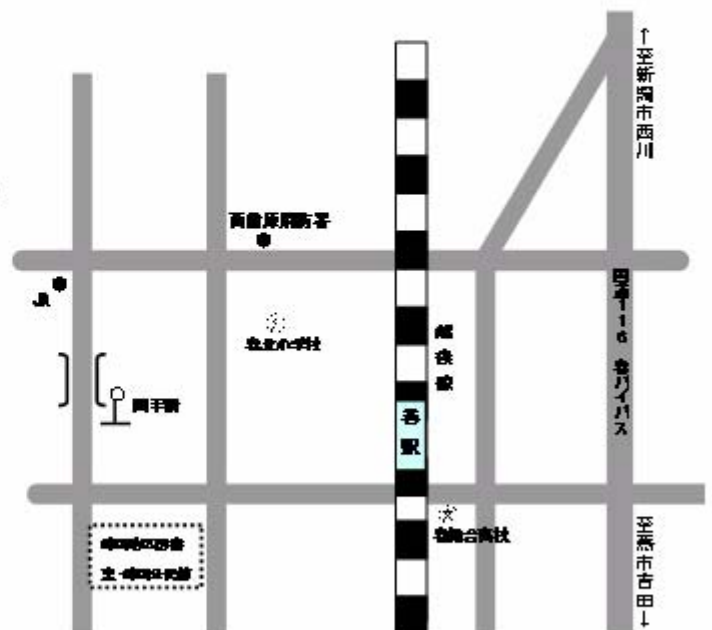
みなさん、どうぞお越しください。

- ・P 無料駐車場 14 台（峰岡公民館駐車場と共用）
- ・JR 越後線 巻駅より車で約 10 分
- ・新潟交通バス（巻駅前～福井～浦浜線，巻～角田線）間手橋下車徒歩 5 分

- 開館時間 午前 8 時 30 分～午後 5 時 30 分
- 休館日 火曜日（祝日の場合は翌日）
土曜日・日曜日・祝日
年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

■所在地 新潟市西蒲区鷺ノ木 1633 番地 9

TEL 0256-73-4055



和田久美子

曾根小に初めて来られた司書の O 先生は笑顔がチャームで誰とでもすぐに仲良くなれる才能を持った素敵な女性でした。子ども達の顔と名前もすぐに覚えられて、1ヵ月も経った頃には、まるで以前からいらした様にすっかりなじんでいらしゃいました。整理整頓の技とセンスもすばらしく、ただのダンボール箱がチェック柄の本棚に早変わり！ 低学年の目線に合わせて絵本を平置きにしたり、高学年の興味を引くようなコメントを付けたり・・・子ども達は正直です。確実に図書室に足が向いていくのが間近で見えて分かりました。もちろん、先生方も授業の準備やブックトークなどで一緒に生まれ、O 先生は学校にとって無くてはならない存在になっていきました。時には、私たち読み語りチームと一緒に絵本談議に花を咲かせ、2学期からは朝の絵本タイムにも加わっていただきました。その選書眼はさすがにプロのもので、私達は随分と勉強させていただきました。

同時期、西川図書館も地域に根ざすべく、連続講座やボランティア講座を開催したりと積極的に活動しており、職員の皆さんもお忙しかったのではと思われれます。しかし、小学校への集団貸出しや読み語り相談などを通して学校との関係作りに努めてくださっていました。そこには常に学校司書の存在があり、又その要望をしっかりと受けとめてくださる図書館司書との連携があったからこそ、手と手を繋ぎ合うことが出来たのだと思います。その温かな手から子ども達に渡されたものは決してただの「本」だけではなかったはず。子どもたちの未来を思い、その好奇心と知的欲求に応えるために大人達が誠実に動く事、その思い・その姿に触れて成長出来る子どもは「一冊の本」以上のものを糧にして大きくなります。

学校に図書室の先生が常にいること・・・それは、私たち大人が予想していた以上の宝を子ども達に授けてくれているのかもしれない。(つづく)



傘ぼこ 西川まつり

今年も傘ぼこを西川図書館エントランスに展示しました。人間の背丈の倍もある大きな傘ぼこです。傘の上の人形は毎年作りかえられます。江戸時代からつづく伝統行事です。

8月下旬の西川まつりに傘ぼこ行列が行われました。参考；西川町史考その31 西川町教育委員会、2004年



絵本の読み聞かせポ

ランティア養成講座

日時：11/1, 11/8, 11/22, 12/6,
12/13, 12/20(土曜日 全6回)
午後2時～午後4時

会場：西川学習館

講師：平井 葉子さん

対象：西蒲区内図書館や学校でボランティア活動が可能な方で、全講座参加できる方

定員：20名

募集：9/7(日)～10/15(水)

申込み・お問合せ：

西川図書館 Tel.0256-88-0001

おすすめの一冊

「『2℃の違い』を知る絵本」

佐伯 平二／著
(青春出版社)



2℃の温度差はあなたにとってどんな感じがしますか。少し暑いかなとか、寒いかなとを感じるくらいだと思います。でも地球にとっての2℃の違いは私たちの普段の生活の中で感じるものとは大きく異なります。例えば、秋の風物詩である紅葉も、この2℃の違いにより見ごろが10日も変わってしまうのです。この他にも環境に与える影響は多岐にわたります。

地球温暖化は私たちにとって身近な問題となりました。地球の温度上昇が何をもちたらすのか考えてみませんか。

(岩室図書館 川崎)

「大草原の小さな町」

ローラ・インガルス・ワイルダー／著
谷口 由美子／訳
(岩波少年文庫)



アメリカ西部開拓時代を生きたローラ・インガルス・ワイルダーの自伝的小説。

厳しい冬に備えて、大草原の小さな町「デ・スメット」に移り住むインガルス一家。病気のため盲人となってしまった姉メアリとのかかわりや別れなど、そこでの暮らしの中での様々な経験は、ローラを成長させ、家族の絆をより一層深めるものとなりました。

この本を読んで現代人の忘れていた開拓者精神(生きる力)、また、家族とは何か?をもう一度考え直してみませんか。(岩室図書館 和田)

「これがほんとの大きさ！」

スティーブ・ジェンキンス／著
佐藤 見果夢／訳
(評論社)



動物園や水族館で見る動物たちは、なかなか近くで見ることってできませんよね。ゴリラの手の大きさはどのくらい? ワニの口ってどのくらい大きいのかな? 大きなゾウの足ってどうなっている? など動物の大きさの疑問に答える1冊です。なんと実物大で描かれています。大きさを確かめることができ、また、でてきた動物たちの紹介もあり、詳しい生態もあわせて知ることができます。遠くから眺めていた動物たちの姿が身近に感じられる1冊です。

(岩室図書館 川崎)

各図書館の行事

中

館名・会場	日時	行事	内容
西川図書館 (おはなしコーナー)	毎週火曜日 午前11:00~11:30	えほんのじかん	0歳~2歳児と保護者向けの読み聞かせ
西川図書館 (おはなしコーナー)	毎週日曜日 午後2:00~2:30	ボランティアによる えほんよみかたりの会	ボランティアグループ「ゆめのたね」による読み聞かせ(3歳以上)
岩室図書館 (おはなしのへや)	9/13(土)・27(土) 午前11:00~11:30	おはなしのじかん	0歳~大人対象の読み聞かせ
岩室図書館	10/11(土)・18(土) 午後1:00~4:00	製本講座	世界でたった1冊のあなただけの本を作ってみませんか。 講師:野上千恵子氏(図書館司書) 定員:10名(先着順)市内在住者対象 申込:9月14日(日)から受付(定員になり 材料費:800円 次第締切)

□

学校図書館支援センター通信NO. 5

ゆっくり本を読んだり、自由研究のまとめ方を調べたり、友だちと一緒にビデオを観たりと、夏休みの西川図書館は普段より子ども達の利用が多く賑わっています。

さて、学校図書館でも毎年夏休みに児童を対象に開館して貸出しをしています。今年は西蒲区の小学校13校と西川中学校で学校図書館の地域開放を行ないました。児童や保護者の方だけでなく、地域の方にも利用してもおうという試みです。学校図書館がどのように開放されているのか、越前小学校と升潟小学校におじゃまして開館日の様子を見せてもらいました。



夏休みの学校図書館

<越前小学校>

8月18日、越前小学校には、近くの七浦保育園から15名の園児達が来館していました。学校司書の渡辺さんは『ぐるんぱのようちえん』の絵本の読み聞かせをして歓迎していました。読み聞かせの後は自由に本を選び、思い思いに楽しんでいました。そして、ひとり一冊ずつ本を借り手下げバックに入れて帰っていきました。保育士の先生も園で読むための絵本を数冊借りていかれました。今年の越前小学校の図書館開館日は8回だそうです。

8月20日、升潟小学校におじゃましました。「低学年のお子さんに付き添って保護者の方もよく来られますよ」と司書の宮澤さんが話してくれました。保護者の方や未就学のお子さんへの貸し出しもしているそうです。開館日は6回。ボランティアによる読み聞かせの催しが企画されていました。また、この日は升潟ひまわりクラブの子ども達の利用がありました。静かに集中して本を読んでいる姿が印象的でした。



さて、9月に入り学校の授業が始まりました。西川図書館には8月末から、授業で使用したいという本の貸出し依頼が数件届いています。それぞれの学校図書館の仕事もまたスタートしたようです。支援センターとしても、学校図書館に協力して、授業に貢献していきたいと考えています。



<升潟小学校>

新潟市立西川図書館

TEL : 0256-88-0001 FAX : 0256-88-2458

メールアドレス nishikawa.cl@city.niigata.lg.jp